

ふせつ
べいせつ
たいたい
たいたい

待望の一番茶ができました。
今年こそ皆さんに「おいしいー！」と
喜んでいただきたいです。



CO・OP
神奈川の煎茶あしから
(一番茶使用) 200g

丹精込めて作った新茶です
ゆつたりと味わってください

「今年こそは」という思いでお
茶を育て、今ようやくでき上
りました。ぜひ皆さんに召し上
がっていただきたいと思いま
す。皆さんの「おいしいー！」の
声
が私たち茶農家にとって一番の
励みです。

おいしい一番茶をおいしく入
れるにはコツがあります。少し
冷ましたお湯を使ってください
ね。あしから茶のうま味や甘み
がより引き出されます。ゆつた
りとした時間とともに味わって
いただければと思います。

昨年は放射能の除染、
そして秋から出荷再開

昨年3月の原発事故のため、一番茶
の出荷直前の検査で暫定規制値を超え
る放射能が出て出荷停止となりまし
た。生葉では基暫定規制値以下を確認
していただけにショックでした。香り
も良く、いつもの年よりも良いくらい
の出来でしたが、一番茶はすべて出荷
できなくなっていました。

7月の二番茶の時期には、商品化の
ためではなく除染のための「刈り捨て」
を行いました。いつもは芽の部分を摘
みますが、今回は神奈川県茶業技術セ
ンターの指導に従い、茶樹をほぼ丸坊
主に刈り込みました。

苦勞の末、8月の三番茶で放射能が
暫定規制値を下回り、出荷制限が解除
されました。そして10月に量は少ない
ですが収穫し、鹿児島産のお茶とブレ
ンドした『足柄仕立て』を製造すること
ができ、とりあえずほっとしました。

今年の一発茶も放射能検査を行いま
した。4月からの新基準値も下回って
いることを確認しています。

コープで一番人気のお茶「CO・OP 神奈川の煎茶
あしから(一番茶使用)」は、地元コープかながわの
組合員に愛され続けてきた「地産地消」商品です。
産地の神奈川県西部地域、丹沢・箱根山麓一帯の気
候・風土はお茶の栽培に最適で、毎年「味と香り」に
優れたお茶が毎年作られてきました。
昨年の福島第一原発事故による放射能汚染の影響
から1年。今年の新茶づくりへの思いを足柄上郡山
北町にある農事組合法人グリーンティーあしから
代表理事組合長の山崎利久さんにお聞きしました。

今年の一発茶は間違いなくおいしいです

お茶の木は大きくなりすぎないように、数年ごとに深
く刈り込みます。刈り込んだ翌年の春は、新芽の数はい
つもより少なくなりますが
芽の力が強く栄養も行き渡
り、味の良い一番茶ができま
す。昨年は放射能の除染のた
めに茶樹を例年以上に深く
刈り込みましたので、何年か
ぶりのとても良い味が出る
のではと期待しています。

